

# 平成22年度地域密着型金融の取組状況について(要約)

平成22年4月～平成23年3月

平成23年7月

空知商工信用組合

## I. 地域密着型金融の取組状況について(要約)

(平成22年4月～平成23年3月)

当組合の地域密着型金融の取組みは、1.「ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化」、2.「事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底」、3.「地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献」、4.「地域の利用者の利便性向上」であり、平成22年4月から平成23年3月までの取組状況は次の通りとなっております。

### 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

#### (1) 創業・新事業支援

- ・ 各種セミナーの参加を通じ創業・新事業支援のノウハウ等の習得に努めました。
- ・ 今後については、各種セミナー等に積極的に参加し、ノウハウの習得、支援態勢の強化を図ってまいります。

#### (2) 経営改善支援

- ・ 経営改善指導によるランクアップを目論見、対象先20先を選定し相談・経営管理・経営指導を継続した結果、目標5先に対し3先がランクアップし、うち2先が正常先となりました。
- ・ 北海道信用保証協会のランクアップサポート保証付融資の取扱いは1件6百万円でした。

#### (3) 事業再生支援

- ・ 営業店臨店及び北海道中小企業再生支援協議会主催による、企業再生サポートセミナーを通じ、職員のレベルアップを図りました。
- ・ 今後も継続して関連セミナー参加及び研修会等を通じ、更なるスキルアップや情報収集を行い、事業再生に取り組んでまいります。

#### (4) 事業承継支援

- ・ セミナーの参加、広報冊子、上部団体からの情報収集を通じ事業承継のノウハウ習得に努めました。
- ・ 今後も各種セミナーの参加及び上部団体からの情報収集を行いノウハウ習得に努めてまいります。

### 2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

#### (1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み

- ・ 平成22年度の流動資産担保融資の取扱いは8件2百万円でした。
- ・ 流動資産担保融資は、資金供給手法として定着しております。
- ・ 今後も積極的に不動産担保・個人保証に依存しない融資を推進してまいります。

(2)「目利き機能」の発揮に向けた取組み

- ・ 銀行業務検定試験、外部研修、組合内研修、信用格付システムを通じ、事業価値評価のレベル向上に努めました。
- ・ 今後も通信教育・研修・検定試験等により中小企業に適した資金供給を行うための目利き能力の向上に努めます。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(1)地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み

- ・ 地域行事等に継続的に参加・協力し、地域の活性化に努めました。
- ・ 地域活性化を図る為、地域行事等へは今後も積極的に参加してまいります。
- ・ 今後も継続して参画するとともに、参画団体の増加に努めてまいります。

(2)地域活性化につながる多様なサービスの提供

- ・ 多重債務者問題解決として、借換可能なフリーローンの今年度の実績は43百万円でした。
- ・ 今後も多重債務者の対応ができるフリーローンによりサービスを提供してまいります。

4. 地域の利用者の利便性の向上

(1)顧客・組合員の意見・ニーズを経営改善につなげる態勢の強化(地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立)

- ・ 平成21年度のアンケートに基づき、「接遇」および「ATMの機能強化」、「広告媒体の充実化」について改善を図りました。
- ・ 今後も業務改善を行い、接遇の改善や環境の整備に努めます。

(2)地域貢献等に関する情報開示

- ・ ホームページやディスクロージャー誌において顧客の目線に立った情報開示に努め、開示についても内容の充実に努めました。
- ・ 今後も更なる分かりやすい情報の開示に努めます。

## II. 報告資料

- |                       |         |
|-----------------------|---------|
| 1. 地域密着型金融個別の取組結果(要約) | 別紙のとおり。 |
| 2. 経営改善支援等に関する取組実績    | 別紙のとおり。 |
| 3. 経営改善支援実績表          | 別紙のとおり。 |

## II-1. 地域密着型金融個別の取組結果（要約）

項 目	取 組 方 針	平成22年4月～平成23年3月	
		取組策(取組内容)	取 組 結 果
<b>1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化</b>			
(1) 創業・新事業支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>産学官関連のセミナー及びサポート会議等の参加を通じ、情報収集及びノウハウの習得を図る</li> <li>中小企業支援センター等の情報を活用し、新規開業等の相談機能等に活用する</li> <li>信用保証協会の「創業関連保証制度」(再挑戦支援保証を含む)及び公的制度を活用し、創業・新事業への支援を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産学官関連のセミナー及びサポート会議への参加</li> <li>中小企業向け経営懇談会等の情報収集と情報提供</li> <li>各種制度の活用による創業・新事業への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年8月 美唄新産業創造研究会参加</li> <li>平成22年10月 食クラスターワーキンググループ会議参加</li> <li>平成22年12月 食クラスターコーディネート会議参加</li> <li>平成23年2月 コミュニティビジネス・ソーシャルビジネス5団体連携フォーラム参加</li> <li>平成23年3月 地域密着型金融シンポジウム参加</li> <li>北海道の制度資金である事業活性化資金創業貸付を活用し、創業・新事業への支援を図りました。(平成22年度3件18百万円)</li> </ul>
(2) 経営改善支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業再生支援相談課を中心にランクアップ対象企業(財務上問題、事業の将来性の見通し、再生の実現性が高い企業)を選定し、本部・営業店が一体となって相談・経営管理、経営改善指導を行なう</li> <li>保証協会のランクアップ保証を活用し、経営改善を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営改善指導 目標 20先選定 ランクアップ 5先</li> <li>ランクアップ保証、再生支援資金等による事業再生(取扱目標 3件)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営改善指導によるランクアップを目論見、対象先20先を選定し相談・経営管理・経営指導を継続した結果、目標5先に対し3先がランクアップし、うち2先が正常先となりました。</li> <li>北海道信用保証協会のランクアップサポート保証付融資1件(6百万円)を実行しました。</li> </ul>
(3) 事業再生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種関連セミナーの参加及び研修会の実施等を通じ、各種再生手法の習得及び相談機能のレベルアップを図ると共に、中小企業再生支援協議会の事業再生手法の活用を図る</li> <li>中小企業金融円滑化法に基づく、当組合金融円滑化基本方針による相談、申し込みに対する真摯な取組で事業再生支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業再生支援協議会活用による事業再生先の選定</li> <li>上部団体における各種セミナーの参加</li> <li>組合内研修の実施</li> <li>金融円滑化法に基づく事業再生支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年9月北海道中小企業再生支援協議会主催「北海道における企業再生の現状について」参加</li> <li>営業店臨店による指導を実施し、職員のスキルアップを図りました。</li> </ul>
(4) 事業承継	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種団体が主催する事業承継に関するセミナー等に出席し、事業承継のノウハウの習得に努める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種セミナー等への参加</li> <li>勉強会等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年5月 中小企業施策別リーフレット送付</li> <li>平成22年8月 中小企業庁広報冊子及びチラシ(事業承継関連、中小企業の会計)送付</li> <li>平成23年3月 地域密着型金融シンポジウム参加</li> </ul>
<b>2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底</b>			
(1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>ABL、コベナンツファイナンスの研究(当組合の顧客の身の丈にあった手法はあるか)と資金供給</li> <li>「中小企業の会計指針」適用先への資金供給の研究と実施</li> <li>当組合信用格付システムに基づく資金供給の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ABL、コベナンツファイナンス、「中小企業の会計指針」、信用格付システムの研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年度流動資産担保融資の取扱実績は8件2百万円となりました。</li> </ul>

項 目	取 組 方 針	平成22年4月～平成23年3月	
		取組策(取組内容)	取 組 結 果
(2)「目利き機能」の発揮に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信教育、検定試験及び研修により目利き能力を向上させスキルアップを図る</li> <li>・信用格付システムの活用・推進を通じ、事業価値評価のレベルアップと標準化を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業界団体が主催する研修の受講を進める</li> <li>・銀行業務検定試験の取得を進める</li> <li>・中小企業支援スキルの基礎及びその向上を目的とする、通信講座を受講</li> <li>・組合内研修等により、職員のスキルアップを図る</li> <li>・審査部による営業店職員のOJT(審査業務)の実施</li> <li>・信用格付システムの活用・推進を通じて、事業価値評価のスキルアップを図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信用格付システムを活用し、営業店職員の事業価値評価のスキルアップを図りました。</li> <li>・審査業務を通じ、営業店職員への指導を実施しました。また、倒産事例を用い、目利き能力の向上に努めました。</li> <li>・平成22年度北海道信用組合協会主催の研修に参加し(34名)、また、銀行業務検定試験を受験し(年3回受験者数170名・合格者78名)、資格取得を勧め、スキルアップ向上に努めました。</li> </ul>
<b>3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献</b>			
(1)地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の活性化に取組む諸団体への参画を行なう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会議所、地公体を通じ地域の活性化に取組む諸団体への参画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種地域行事に参加</li> <li>・平成22年7月 食クラスター連携協議会参画</li> <li>・平成22年9月 日本赤十字「献血サポーター」参加</li> <li>・平成23年1月 しんくみネット加盟</li> </ul>
(2)地域活性化につながる多様なサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種団体が主催する多重債務者問題解決のセミナー等に参加し、ノウハウの蓄積を行ない相談機能の向上を図る</li> <li>・相談並びにローンの活用による多重債務問題への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他行債務借換可能なフリーローン「電光石火」による多重債務問題への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年10月 「多重債務防止に関する消費者啓発ポスター」掲示</li> <li>・平成23年1月 フリーローン「電光石火」キャンペーン実施</li> </ul>
<b>4. 地域の利用者の利便性の向上</b>			
(1)顧客・組合員の意見・ニーズを経営改善につなげる態勢の強化(地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者満足度アンケートを実施し、営業施策に反映する</li> <li>・接遇・マナーの質の向上を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者満足度アンケートの実施</li> <li>・利用者満足度アンケート結果に基づく営業施策の実施(ATMの機能強化・接遇の改善・広告媒体の充実化)</li> <li>・組合内研修による、接遇・マナーの質の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年北海道信用組合協会主催の研修に参加(34名)、また、接遇については、平成22年12月に道信協研修参加者によるフィードバック研修を行い(参加者8名)、接遇・マナーの質の向上に努めました。</li> <li>・平成21年度に実施した「顧客満足度アンケート調査」結果に基づき、「ATMの機能強化」、「接遇の改善」、「広告媒体の充実化」を改善項目に挙げ、取り組みいたしました。</li> </ul>
(2)地域貢献等に関する情報開示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の目線に立った分かりやすい情報開示に努めるとともに、開示内容の充実を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスクロージャー誌の充実を図る</li> <li>・ホームページの充実を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域密着型金融推進計画」(平成21年度)の推進結果について店頭及びホームページにて公表いたしました。</li> <li>・事業決算のディスクロ誌を店頭及びホームページにて公表いたしました。</li> <li>・半期のディスクロ誌を店頭及びホームページにて公表し、併せて地域貢献等についてもディスクロ誌及びホームページにて公表いたしました。</li> </ul>

## Ⅱ－2. 経営改善支援等に関する取組み実績(平成22年4月～23年3月の状況)

項 目	目 標	実 績	備 考
経営改善支援への取組み	20先	20先	
経営改善支援取組先のうち 債務者区分のランクアップ先数	5先	3先	
個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資 (動産・債権譲渡担保融資) 「流動資産担保融資保証制度」の活用	—	8件	流動資産担保融資実績 金額 2百万円
創業・新事業支援融資実績	—	3先	金額 18百万円 北海道の制度資金である事業活性化資金創業貸付 を活用しております。

## Ⅱ－3. 経営改善支援実績表

期初債務者数 A					経営改善 支援取組 率  $\alpha / A$	ラ ン ク ア ッ プ 率  $\beta / \alpha$	再生計画 策定率  $\delta / \alpha$
うち経営改善支援取組先 $\alpha$							
	$\alpha$ のうち期末に債務者区分がランクアップした先数  $\beta$	$\alpha$ のうち期末に債務者区分が変化しなかった先  $\gamma$	$\alpha$ のうち再生計画を策定した先数  $\delta$				
4, 548	20	3	17	20	0. 43%	15. 0%	100%

(注) 1. 期初債務者数は平成22年4月当初の債務者数です。

2. 債務者数、経営改善支援取組み先数は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先は含んでおりません。
3. 「 $\alpha$  (アルファ)のうち期末に債務者区分がランクアップした先数  $\beta$  (ベータ)」は、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先です。なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者は $\alpha$ には含みますが $\beta$ には含んでおりません。
4. 「 $\alpha$ のうち期末に債務者区分が変化しなかった先  $\gamma$  (ガンマ)」は、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先です。
5. 「 $\alpha$ のうち再生計画を策定した先数  $\delta$  (デルタ)」は、 $\alpha$ のうち中小企業再生支援協議会の再生計画策定先、RCCの支援決定先、当信組独自の再生計画策定先の合計先数です。
6. 期中に新たに取引を開始した取引先は、本表に含みません。